

キャンパスマップ

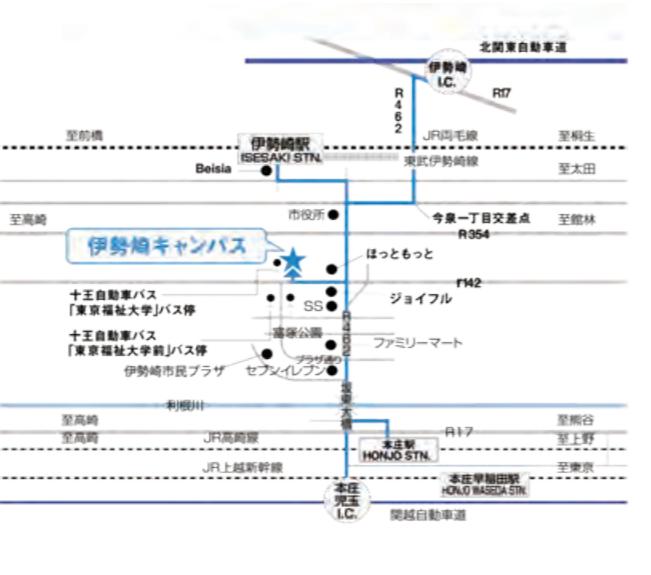
Campus map

伊勢崎キャンパス



〒372-0831 群馬県伊勢崎市山王町2020-1
TEL.0270-20-3673

- JR湘南新宿ライン・上野東京ライン・高崎線「本庄」駅（北口）またはJR両毛線・東武伊勢崎線「伊勢崎」駅より十王自動車バス約15分「東京福祉大学」バス停下車
- 関越自動車道本庄児玉IC・北関東自動車道伊勢崎ICより約15分



池袋キャンパス



〒170-8426 東京都豊島区東池袋4-23-1
TEL.03-3987-6602

- 東京メトロ有楽町線「東池袋」駅6・7番出口徒歩1分
- JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅徒歩10分
- 東京さくらトラム（都電荒川線）「東池袋四丁目」駅徒歩4分



大学通信教育・大学院WEB説明会・個別相談会

★履修のしかたや入学についての説明動画視聴

随时 予約不要



★WEB個別相談会（zoom）

月1回程度開催 要予約



大学院入試情報

大学院募集要項・出願書類は本学公式サイトからダウンロードしてください。

お問い合わせ

池袋キャンパス入学課
〒170-8426 東京都豊島区東池袋4-23-1
TEL. 03-3987-6602

詳細は本学公式サイトをご確認ください

東京福祉大学大学院 GUIDEBOOK

- 心理学研究科
臨床心理学専攻博士課程前期（修士）・後期（博士）
- 社会福祉学研究科
社会福祉学専攻博士課程前期（修士）・後期（博士）
児童学専攻修士課程
- 教育学研究科
教育学専攻修士課程

東京福祉大学大学院
GRADUATE SCHOOL, TOKYO UNIVERSITY OF SOCIAL WELFARE

現代社会の現実的課題の解決を目的として、 実践的な研究を推進し、社会の発展に寄与します。



東京福祉大学大学院では、「理論と実践の統合」を核として教育・研究が行われています。

講義・演習は少人数・双方向対話型で進められ、その対話を通して高度専門職者として必須となる柔軟な思考力、コミュニケーション能力を養成します。

その力をもって心理・福祉・児童・教育の各分野の現実の社会で起こる課題を発見し、その解決方法を研究し、実践することを目的とし、学修・研究の場として多くの大学院生を受け入れ、

日々研究が進められ、社会へ還元が図られています。

学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー) 全学方針

東京福祉大学大学院は、以下の能力を身に付け、所定の単位を修得し、学位論文の審査に合格した学生に対して、卒業を認定し、学位を授与する。

- 高度にして専門的な学術の理論及び応用を研究し、高度な専門的読解力、文章力、精深な学識と、論理的、学問的な思考力、研究能力、問題発見・解決能力を主体的に身に付ける
- 各研究科・専攻の人材養成に係わる目的を通して、人間、社会問題を理論的、科学的にとらえ、柔軟な思考力による問題発見、分析、解決のための知識、技術、価値・倫理を身に付ける
- 「講義」「演習」「調査」などを通して、専門職者として求められる専門知識・技術を意欲的に修得し、学位論文に反映し、社会貢献できる力量を身に付ける

入学者受入れの方針(アドミッション・ポリシー)

東京福祉大学大学院では、学生に対し、高度な専門的読解力、文章力、精深な学識と、論理的、学問的な思考力、研究能力、問題発見・解決能力の獲得をめざし、修了までに確実に学生の学問的能力を高められるよう、「講義」「演習」などを通して、双方向対話型の教育を実践するとともに倫理規定に沿った「調査」を指導している。また、学生個人の学習に対する強い意欲や将来の目標への熱意、学問領域への関心があり、国際社会を生きる各分野のリーダーとして高潔な人格形成を目指している。

本大学院の入学者選抜試験では、こうした国際感覚や研究意欲があり、学び続けることができる能力を持った学生を選抜することに主眼を置いている。「読む力」「論理的思考力」「書く力」など、学問・研究に必要な基礎的な能力について、受験時の実力だけでなく入学後の能力の伸長の可能性をも見出すことを目的とし、選抜試験を実施する。

本大学院では、次にあげるような学問・研究に必要な基礎的な能力と人間性がある人材を求めている。

- 東京福祉大学大学院の実践的・効果的な教育を継続して学び、高度な専門的読解力、文章力、精深な学識と、論理的、学問的な思考力、研究能力、問題発見・解決能力の獲得を目指そうとする意欲がある者
- 各分野の学問的・実践的リーダー的な人材になりたいという強い熱意がある者
- 教養を生かし、他人を大切にする「やさしさ」、「思いやり」及び「人間性」がある者

教育課程の編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー) 全学方針

東京福祉大学大学院は、教育基本法及び学校教育法に則り、学部における一般的及び専門的教養の基礎の上に、高度にして専門的な学術の理論及び応用を教授研究し、高度な専門的読解力、文章力、精深な学識と、論理的、学問的な思考力、研究能力、問題発見・解決能力を養うことによって、広く文化の進展に寄与することを目的とする。今後、専門職及び研究者に求められる最先端の社会科学、行動科学、生物科学、経済科学などの知識に精通し、しかも、これらの科学的知識・技術を現実の社会に応用でき、地域社会や国家・社会に貢献できる人材の育成をするために、以下の方針に基づいて教育課程を編成し実施する。

- 各研究科の専門的な知識、技術、価値・倫理を修得するため、必修科目を設置する
- 自己の専攻分野を支える関連領域の専門科目を学び、幅広い知識、技術、価値・倫理を修得するため、選択科目を設置する
- 柔軟な思考力、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力を身に付けるために、「講義」及び「演習」を通じて双方向対話型の授業を実施するとともに、倫理規定に沿った「調査」を行う
- 研究課題を定め、学位論文作成のための過程を学び取らせる

大学院生のための学修サポート

■大学院アカデミックアドバイザーと研究指導教員

入学に際して提出した研究計画書等の書類に基づき、各学生の履修指導を担当する大学院の専任教員(大学院アカデミックアドバイザー)が研究科長より指定されます。院生は大学院アカデミックアドバイザーと面接し、指導を受けながら履修計画書を作成します。

また、入学年次の6月に学生は研究題目(研究領域)と希望する研究指導教員名を第3希望まで研究科長に提出します。

院生は大学院アカデミックアドバイザーと研究指導教員の指導のもと、授業科目の選択や修士論文のための研究計画書の作成などを行います。

また、学生生活のなかでの問題が生じた場合なども大学院アカデミックアドバイザーが相談を受け、対応します。

■オフィスアワー

大学院担当専任教員の全員が、オフィスアワーと呼ばれる時間枠を授業時間以外に設定しています。院生はこの時間を利用し、教員に授業や研究分野についての相談・指導を受けることができます。

■大学院生研究室(院生室)

各キャンパスに数か所大学院生研究室(院生室)を設定しています。院生は自由に利用することができます。



学修・研究の流れと修士論文

実証研究を基本に修士論文を作成

大学院での学修は、科目履修を経て、修士論文の作成を目的に展開されます。本学では、「実証研究」を基本に修士論文の作成を進めます。

実証研究とは、研究の目的に合った調査、実験、症例検討などを通してデータを集め、得られたデータや事例の分析を通じ、目的とする問題を究明するという研究方法です。

研究テーマに合わせ、自分で収集した調査結果、また政府等から発表された「二次的統計資料」など、研究に必要なデータを統計分析等による量的方法・事例研究法等による質的方法などさまざまな研究法により分析します。

そして、教授の指導を受けながら、論証方法が明確で論理展開の正しい修士論文の完成をめざします。



研究テーマ設定から修士論文作成までの流れ

1. 研究領域と課題の設定

研究テーマを決める際は、幅広い領域から興味ある具体的な研究目的・課題へとテーマを絞ります。課題設定では、自分が興味を持っている課題について書かれた文献を読むと同時に、研究したいと思うようになった研究目的・課題を質問の形に置き換え、具体的なイメージを持ちます。

〈課題設定の例〉

臨床心理学専攻

個人的心理的問題と発達、家庭関係、障がい者の心理や心理療法など

社会福祉学専攻

高齢者・障がい者・児童福祉等の分野、またはケースワーク・グループワーク等の援助方法など

児童学専攻

児童の発達・発育や子育て支援など

教育学専攻

いじめや学習意欲の減退、環境汚染の児童への影響といった教育現場で生じる現象を国際的視野に立って解決していく方法など

2. 情報収集

ある程度自分の研究目的・課題が決まつたら、先行論文などの情報収集を行っていきます。研究目的に関連のあるような文献数本の中から最も適切なものを2本程度選びます。適切な論文を大まかに理解することにより、選んだ課題について理解が進み、研究目的・課題をより絞る助けになります。最初の文献調査を行った結果、研究目的・課題を変更することも可能です。

3. 研究課題を精錬する

情報収集の結果により、研究目的・課題を以下のポイントで精錬します。

- ①研究目的・課題は各研究科の分野（臨床心理学・社会福祉学・児童学・教育学）の範疇か
- ②研究目的・課題が重要であると考える理由
- ③研究目的・課題を明らかにすることによって、何らかの実践の改善に影響を与えるか
- ④研究目的・課題に適切かつ合理的な答えを出すことができるか。また限られた時間・財源で行うことが可能か

4. 本格的な研究の開始

本格的な研究に向け、精錬・改善した質問をクラスメート・指導教員などに確認し、批評を受け、さらなる文献調査を行います。また、研究スケジュールを作成し、論文の作成に取りかかります。

大学院スケジュール（例）



図書館の活用（研究）

院生なら誰でも利用可能

東京福祉大学附属茶屋四郎次郎記念図書館は、教育・研究活動に不可欠な図書・資料・情報を収集し、円滑な利用に供することにより、総合的教育の場としても有効な活動ができるサービス機関です。

WebOPAC

OPACはオンラインで資料を検索することができるシステムで、本学所蔵の資料は全てデータベース化されており、多角的な検索をすることでいち早く資料を探し出すことができます。学内外、インターネットの環境があればどこでも資料の検索ができます。



CiNii Research（サイニィリサーチ）

国立情報学研究所（Nii）が運営する国内の学術論文情報を集めたサイトです。学協会刊行物、大学研究紀要、博士論文、全国の大学図書館の所蔵情報などの膨大なデータベースから検索可能です。必要な資料は所蔵している図書館名を添えてカウンターで申し込むことで取り寄せることもできます。



修士論文（課題研究テーマ例）

社会福祉学専攻

- 介護保健施設の介護職員のバーンアウトに関する研究
- 独立型社会福祉士の活動に関する研究
- 精神障がい者を抱える家族の生活状況と福祉ニーズの調査研究
—静岡県におけるアンケート調査を実施して—
- 医療ソーシャルワーカーにおける役割葛藤とストレス
—ワーカー自身・医師・看護師の役割期待を媒介として—
- Motivational Interviewingの適用による中途視覚障害者の社会参加準備性の促進

臨床心理学専攻

- 箱庭の表現による攻撃性の変容について
—P・Fスタディの他動反応を中心として—
- 女子青年の性役割と摂食障害傾向に関する研究
- 中学生のいじめの傍観者における情動的共感性、自己主張性、いじめへの意識について
- 母親の虐待傾向に対する「怒りのコントロール」の効果
—認知療法とリラクセーション+認知療法の2グループの比較—
- 小学生に対する効果的なリラクセーション技法の検討
—ストレスマネジメント教育の一方法として—

児童学専攻

- 3、4歳児の遊びへの参入場面における対人行動に関する研究
—参入行動の縦断的変化を中心として—
- 軽度発達障害のある子どもをみる保育者の支援を深める保育者支援に関する基礎研究
—「気になる子ども」と注意欠陥多動性障害を中心として—
- 幼稚園における保育者の保育意識及び保育方法と幼児の発達過程の中日比較研究
—学年初期と学年末の発達的変化を中心として—
- 母親の持つ育児不安とイラショナル・ビリーフとの関連についての研究
- ヒトの新生児・乳児における栄養法に関する研究
—母乳哺育に対する認識を中心として—

教育学専攻

- 児童生徒の抱えるストレスの軽減法
—自律訓練法を用いて—
- 東日本大震災による生徒の心的外傷後症状に関する研究
—養護教諭の職務を生かして—
- NIRSを使用した子どもの前頭葉機能評価
- 障害児学童保育における音楽療法の試み
- アイデンティティと職業選択
—やりたいことできることの狭間で—

学位取得に向けた流れ

授業科目の履修

担当教員と相談しながら研究テーマに近い履修科目を決定
入学後のオリエンテーションでは、大学院の担当教員が院生の履修計画や今後の学修の進め方についてアドバイスをしますので、研究テーマに近い科目はどの科目か、どのように学修を進めばいいか相談しながら履修を進めていくことができます。

構想発表会

研究計画の構想を発表
課題研究の履修を進める過程において、指導教員より個別指導を受け、研究課題、文献調査、研究方法などを練り直し、研究計画書を作成します。その内容を構想発表会で一人10分程度発表します。

中間発表会

調査・研究の進行状況を発表
構想発表会を経て、さらに進んだ調査・研究の成果を反映させ、課題研究指導教員（主査・副査）の指導のもと、より完成度の高い「研究計画書」を作成します。中間発表会では、それまでの調査・研究の進行状況を一人10分程度発表します。

口頭試問（最終審査）

完成した修士論文を発表
指導教員（主査・副査）から審査を受け、院生は「草稿（ほぼ完成した論文）」を提出し、審査に通らなければなりません。通過した院生は、公開で実施される口頭試問（最終審査）において、修士論文について発表した後、論文審査委員会等からの試問を受け最終的な審査が行われます。

公認心理師コース

公認心理師受験資格取得をめざし、公認心理師指定科目を中心に履修します。心理支援・援助に必要な実践的な科目履修により、必要な知識・技術を深め、高いレベルの支援ができる心理職を養成します。

※ 本コースでは臨床心理士受験資格の取得はできません。

心理学研究科 臨床心理学専攻博士課程前期【公認心理師コース】開講科目(予定)

科目群	科目名	単位数	
必修研究 科目群	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	2	心理実践実習Ⅰ
	福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	2	心理実践実習Ⅱ
	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	2	心理統計法特論
	犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	2	心理学研究法特論
	産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	臨床心理学研究法特論
	心理的アセスメントに関する理論と実践	2	発達心理学特論
	心理支援に関する理論と実践	2	社会心理学特論
	家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	2	社会病理学特論
	心の健康教育に関する理論と実践	2	心理援助法特論
	課題研究【修士論文】	4	スクールカウンセリング特論
			アートセラピー特論
			心理支援総論特論

※ 公認心理師受験資格取得には、大学で指定科目を履修していることが必要です。ご自身が条件を満たしているかどうか、卒業した大学にお問い合わせください。

心理学研究科 臨床心理学専攻 博士課程前期【公認心理師コース】開講時間割例(通学課程)

春期							秋期								
時限	時間	月	火	水	木	金	土	時限	時間	月	火	水	木	金	土
1	9:00~10:30				福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	社会心理学特論		1	9:00~10:30						
2	10:45~12:15			心理援助法特論	心理支援に関する理論と実践			2	10:45~12:15	教育心理学特論(教育分野に関する理論と支援の展開)	家族心理学特論(家庭関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	心の健康教育に関する理論と実践	心理統計法特論		
3	13:10~14:40		臨床心理学研究法特論	心理的アセスメントに関する理論と実践	精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)		心理支援総論特論	3	13:10~14:40	心理学研究法特論	産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	社会病理学特論		心理支援総論特論	
4	14:55~16:25					アートセラピー特論		4	14:55~16:25	発達心理学特論					
5	16:40~18:10							5	16:40~18:10						

充実の公認心理師国家試験・臨床心理士資格試験対策

臨床心理学専攻では、公認心理師国家試験、臨床心理士資格試験合格に向けさまざまなサポートを行っています。

公認心理師試験(修了年度の3月頃)

公認心理師資格を有する教員によるアドバイス

修了年度より試験対策としての「心理支援総論特論」を開講

臨床心理士資格試験(修了後に受験)

「多肢選択方式試験」・「論文記述試験」・「口述面接試験」の対策講座を開講

公認心理師・臨床心理士取得のための実習について

【公認心理師取得のための実習】

● 臨床心理コースの場合

1・2年次 「心理実践実習Ⅰ」(420時間)
「臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ)」(30時間)

外部または内部実習施設で、実習指導者による指導を受けながら実習を行います。

※本学では保健医療・福祉、教育、司法・犯罪の4分野のうち3分野以上の施設、および本学附属臨床心理相談室において実習を行います。ただし医療機関(病院又は診療所)での実習は必須です。※450時間の実習のうち、担当ケース実習を270時間以上行います。

臨床心理士受験資格取得のための実習

臨床心理基礎実習【原則として1年次】

2年次の実習に向けて、臨床心理の専門家として必要な技法の基礎を習得します。複数の教員が担当し、体験学習によってアセスメントの基礎や面接の基本を中心に実習を行います。

【春期】

面接のロールプレイングを通じてインテーク面接、査定面接、援助方針検討等について学びます。

【秋期】

本学附属臨床心理相談室の概要や守秘義務など、受付のしかた、心理療法やプレイセラピーの技法の実践的対応を面接指導員や教員等のインテーク面接の陪席などを通じて訓練します。

臨床心理実習Ⅰ(心理実践実習Ⅱ)、臨床心理実習Ⅱ

2年次「臨床心理基礎実習」の内容を基礎とし、本学附属臨床心理相談室と本研究科が指定する学外の実習施設において、臨床心理士として必要なアセスメントのしかた、インテーク面接から実際の心理面接での援助技法について、スピービジョンを受けながら実習を行います。

【春期】

本学附属臨床心理相談室および病院等の学外施設で面接や心理テストなどの実践的な手法を学びます。

博士課程後期(博士) 通学

3年

取得学位: 博士(臨床心理学) 開講キャンパス: 伊勢崎キャンパス

前期からの継続的な教育研究体制でより高度な臨床心理学を研究

博士課程前期からの継続した学修の中でより高度な臨床心理学の研究を体系的に実践し、臨床心理学の高度職業人、カウンセラーの指導者・研究者を養成することを目的としています。

学びの構成

必修4単位・選択6単位以上修得

【臨床心理学分野】

臨床心理学の最近の研究動向やカウンセラーの職業倫理、臨床心理士をめぐる社会的状況を研究します。

【関連学問分野】

心理学を研究する上で必要なデータの統計的分析方法や、精神医学の基礎を習得することができます。(博士論文作成)

研究指導(6単位)

研究指導教員のもとで、博士論文を完成させることを目的に、各自の研究を進めます。

博士論文審査・ 口頭試問合格

博士[臨床心理学]

心理学研究科 臨床心理学専攻博士課程後期 開講科目(予定)

科目群	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数	科目名	単位数
必修研究 科目群	研究指導【博士論文】		臨床心理学分野						関連学問分野	
	臨床心理学特別演習Ⅰ	2	臨床心理学特殊研究	4	高齢者心理学特殊研究	2	家族療法特殊研究	2	認知心理学特殊研究	2
	臨床心理学特別演習Ⅱ	2	臨床心理査定特殊研究	2	教育心理学特殊研究	2	心理療法特殊研究	2	生理心理学特殊研究	2
	臨床心理学特別演習Ⅲ	2	家族心理学特殊研究	2	発達障害特殊研究	2	学校臨床心理学特殊研究	2	心理統計法特殊研究	2
									精神医学特殊研究	2

東京福祉大学附属臨床心理相談室

公認心理師と臨床心理士で地域の皆様の心理教育相談を広く受け付けています。
(1)一般市民および各種機関を対象とする心理教育相談 (2)臨床心理分野における研究活動
群馬県伊勢崎市山王町2020-1 TEL.0270-40-3181 URL https://www.tokyo-fukushi.ac.jp/CPCC

社会福祉学研究科

社会福祉学専攻 博士課程

前期(修士)・後期(博士)



社会福祉実践を科学的・効率的に進める 指導的役割を果たせるソーシャルワーカーを 養成する

社会福祉学研究科は、実証的な研究によって科学的に証明された客観的なデータをソーシャルワークや社会福祉施設運営・管理に積極的に活用すること、状況を観察しながら科学的に検証することなどを研究し、福祉分野で必要とされている、指導的な役割を担う実践者・研究者として活躍できる能力を身につけることができる学修・研究を進める課程です。



取得可能資格

高等学校教諭専修免許状[福祉](希望者)
*高等学校一種免許状取得者のみ

修了後の進路(例)

- 指導的立場(管理職)としてのソーシャルワーカー
- 社会福祉施設の運営・管理者
- ソーシャルワークに関する研究者 他

教育の目的

博士課程前期(修士課程)

社会福祉現場での有能な社会福祉実践者・研究者、地域の社会福祉関連施設を管理・運営するリーダー、さらには国や自治体の社会福祉政策のプランニングやその実施を担える人材を養成する。

ディプロマ・ポリシー

博士課程前期(修士課程)

社会福祉現場での有能な社会福祉実践者・研究者、地域の社会福祉関連施設を管理・運営するリーダー、さらには国や自治体の社会福祉政策のプランニングやその実施を担える指導者並びに研究者。

カリキュラム・ポリシー

社会福祉学専攻博士課程前期(修士課程)

社会福祉学研究科のカリキュラムの履修を通して、社会に起こる複雑な社会問題の研究に取り組み追究していくため、以下の能力を持つ研究者を養成する。

(1) 世界の危機を乗り越えるためのSDGs(持続可能な社会)を目指しグローバリゼーションの視点とそれに対する批判的視野を持ち、社会問題から個人の生活困難に至るまで多様な問題を解決するソーシャルワーク力に必要な専門的体系的な知識・技能。

(2) 複雑で不安定社会における貧困の削減、就労機会の増加、個人と家族の幸福の促進における社会政策の役割について理解を深め、最先端の研究に取り組んでいく。また情報処理能力や社会調査の方法を正しく駆使しパートイシパート(参加)、オブザベーション(観察)、インタビュー、アンケート、サーベイにより得られた結果を質的・量的に分析し研究の成果を生み出すことができる。

(3) 社会包摂(ソーシャルインクルージョン)を根幹とし、障害、ジェンダー、薬物乱用、スマホ依存症、職場の多様性を取り巻く広範な問題、HIV/エイズ、新型コロナ感染症、医療的ケア児、生活習慣病、メンタルヘルスなどの医療福祉に関して、脆弱なコミュニティが直面するさまざまな健康上の脅威に対する解決能力。

(4) ソーシャルワークのグローバル定義を重視し、社会変革と社会開発、社会的結束、そして人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職として国際的に活躍できる。その中核をなす原則である社会正義、人権、集団的責任、多様性を尊重し、人々のウェルビーイングを高めるため、人々やさまざまな構造に働きかける資質と能力を身に付ける。

博士課程後期(博士課程)

社会福祉学の新しい研究方法の開発と新しい社会福祉実践の理論と方法の構築に貢献できる研究者、さらに国内外の大学、研究所、国連などの国際機関で主に研究者として指導的役割を果たすことができる専門家の養成をめざす。

博士課程後期(修士課程)

社会福祉学の新しい研究方法の開発と新しい社会福祉実践の理論と方法の構築に貢献できる研究者、さらに国内外の大学、研究所、国連などの国際機関で主に研究者として指導的役割を果たすことができる指導者並びに研究者。

カリキュラム・ポリシー

社会福祉学専攻博士課程後期(博士課程)

急速に変化する社会情勢や常に発展し続ける医療福祉情勢の専門知識と技術を生かし、自らの先見性と探求心によって、社会福祉専門職の立場から新たな問題点を発見し追究するとともに自立的な研究を推進し、その成果を社会や世界に発信する研究能力を備えた人材を養成する。国・地域・文化による違いを理解した横断的視点も持ち、様々な問題を追究し考究実践できる高度な専門職を養成する。

(1) 社会科学の論理的・批判的思考能力を基盤に新たな現象や社会実践への活用、学際性を活かし活躍できる実践力をもつことができる。

(2) 情報処理能力や社会調査の方法を正しく駆使しパートイシパート(参加)、オブザベーション(観察)、インタビュー、アンケート、サーベイにより得られた結果を質的・量的に分析し研究の成果を生み出すことができる。

(3) ソーシャルワークのグローバル定義を重視し、社会変革と社会開発、社会的結束、そして人々のエンパワメントと解放を促進する、実践に基づいた専門職として国際的に活躍できる。その中核をなす原則である社会正義、人権、集団的責任、多様性を尊重し、人々のウェルビーイングを高めるため、人々やさまざまな構造に働きかける資質と能力を身に付ける。

博士課程前期(修士) 通学 通信教育

2年

学びの構成

必修研究科目群(8単位)

社会福祉学の基礎や調査・研究の基本を学修するとともに、実践への活用、社会福祉援助技術に関する現実的課題の探究と研究を行います

選択研究科目群(18単位以上)

個々の研究テーマと目的に応じて科目を選択履修*

- 社会福祉制度・政策理論研究選択科目群
- 援助技術・実践研究選択科目群
- 経営福祉関連選択科目群

課題研究(4単位)

(修士論文作成)

修士論文審査・
口頭試問合格修士
[社会福祉学]

「科学的根拠に基づく実践」を理念に研究をすすめます

社会福祉学専攻博士課程前期(修士課程)では、EBP(Evidence-Based-Practice;科学的根拠に基づく実践)を理念として研究指導を展開。現職のソーシャルワーカーの方をはじめ、福祉・行政機関等さまざまな社会福祉関連の施設・機関で活躍されている実践家の方々、また他分野から志を新たに、社会福祉の専門職をめざす方々のための実証的研究を経験豊富な教員が指導します。

*社会福祉制度・政策理論研究または援助技術・実践研究から14単位以上を選択必修。

他4単位以上を選択科目群より選択

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻博士課程前期(修士) 開講科目(予定)

科目群	科目名	単位数	科目群	科目名	単位数																																									
必修研究 科目群	社会福祉研究方法特論	4	選択科目群	援助技術・実践研究																																										
	専門演習ⅠA(社会福祉制度・政策理論研究)	2		社会福祉援助技術特論	2																																									
	専門演習ⅠB(援助技術・実践研究)	2		社会福祉援助技術演習	2																																									
	専門演習ⅠC(経営福祉関連研究)	2		精神保健福祉援助技術特論	2																																									
	専門演習ⅡA(社会福祉制度・政策理論研究)	2		精神保健福祉援助技術演習	2																																									
	専門演習ⅡB(援助技術・実践研究)	2		スーパービジョン特論	2																																									
	専門演習ⅡC(経営福祉関連研究)	2		精神医学特論	2																																									
課題研究	課題研究(修士論文)	4		精神科リハビリテーション特論	2																																									
	社会福祉制度・政策理論研究			老年・小児医学特論	2																																									
	社会福祉原理特論	2		福祉リスクマネジメント特論	2																																									
	高齢者保健福祉特論	2		社会福祉調査統計特論	4																																									
	児童福祉特論	2		経営福祉関連																																										
	障害者福祉特論	2	社会保障特論	2	経営福祉研究方法特論	2	地域福祉特論	2	経済学特論	2	公的扶助特論	2	社会福祉経営特論	2	海外福祉事情特論	2	医療経営特論	2	社会福祉法特論	2	財務会計特論	2	精神保健福祉特論	2	マーケティング特論	2			オーガニゼーション特論	2			管理会計特論	2			経営財務特論	2			非営利企業特論	2			福祉マネジメント特論	2
	社会保障特論	2	経営福祉研究方法特論	2																																										
	地域福祉特論	2	経済学特論	2																																										
	公的扶助特論	2	社会福祉経営特論	2																																										
	海外福祉事情特論	2	医療経営特論	2																																										
	社会福祉法特論	2	財務会計特論	2																																										
	精神保健福祉特論	2	マーケティング特論	2																																										
			オーガニゼーション特論	2																																										
			管理会計特論	2																																										
			経営財務特論	2																																										
			非営利企業特論	2																																										
			福祉マネジメント特論	2																																										

■社会福祉学研究科 社会福祉学専攻博士課程前期(修士)開講時間割例(通学課程)

春期									秋期								
時間	時間	月	火	水	木	金	土		時間	時間	月	火	水	木	金	土	
1 9:00~10:30			精神医学特論						1 9:00~10:30		精神保健福祉特論		マーケティング特論		児童福祉特論		
2 10:45~12:15			スーパービジョン特論						2 10:45~12:15		地域福祉特論		経済学特論		専門演習ⅠA(社会福祉制度・政策理論研究)		
3 13:10~14:40			高齢者保健福祉特論						3 13:10~14:40		医療経営特論		社会保障特論		専門演習ⅡA(社会福祉制度・政策理論研究)		
4 14:55~16:25			社会福祉経営特論	福祉マネジメント特論					4 14:55~16:25		オーガニゼーション特論	精神保健福祉援助技術演習			専門演習ⅡB(援助技術・実践研究)		
5 16:40~18:10			社会福祉調査統計特論	経営福祉研究方針特論					5 16:40~18:10		精神科リハビリテーション特論	障害者福祉特論			専門演習ⅡC(経営福祉関連研究)		
6 18:25~19:55			社会福祉調査統計特論						6 18:25~19:55		非営利企業特論				公的扶助特論		

※通学課程の時間割です。

※課題研究については、研究指導教員と学生が相談の上、授業時間が決定されます。

※通信教育のスクーリングスケジュールはP.18をご参照ください。

博士課程前期(修士)経営福祉コース 通学 2年

社会福祉学専攻には、経営福祉関連科目を併せて開講しています。施設経営・運営・管理に欠かせない実践的な知識・スキルを習得し、社会福祉施設経営の多様なニーズに対応できる高度な専門職者を養成しています。

ディプロマ・ポリシー

博士課程前期(修士課程)経営福祉コース

社会福祉現場での可能な社会福祉実践者・研究者、地域の社会福祉関連施設を管理・運営するリーダー、さらには国や自治体の社会福祉政策のプランニングやその実施を担える指導者並びに研究者にふさわしい以下の能力を身に付ける。

(1) 社会福祉事業に関する専門的な知識・技能および社会福祉事業に係る企業体や組織のビジョンやミッションの達成に向けた取り組みを効率的に導けるための経営学を中心とした体系的に高度な専門的な知識・技能。

(2) 現代社会の福祉ニーズに対応すべく、物事に進んで取り組み、他者に働きかけ、確実に行動できる高度な資質能力。

(3) 社会福祉分野の起業家、経営者として求められる社会的責務・倫理を理解し、高度なリーダーシップ。

(4) 社会福祉関連施設等の管理・運営者として経営学から得られる知見に基づいた高度なマネジメント能力を身に付け、社会貢献ができる力。

カリキュラム・ポリシー

博士課程前期(修士課程)経営福祉コース

社会福祉領域での高度専門職者として必要な知識及び技術を学ばせるとともに、思考力、問題発見・解決能力を含めた、社会福祉学領域での研究能力および経営学全般の研究能力を身に付ける。

このためのカリキュラムは、基礎的な社会福祉学領域での研究能力を修得するための必修研究科目群と、各分野の高度かつ専門的な知識を修得するための社会福祉制度・政策理論研究、援助技術・実践研究、経営福祉関連研究からなる選択科目群、そして高度な専門的読解力、文章力、精深な学識と、論理的、学問的な思考力、研究能力、問題発見・解決能力を高め、学位論文の作成に向けての専門的な指導を行う課題研究から構成される。

学びの構成

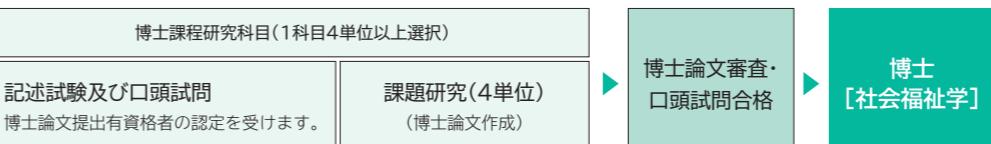


博士課程後期(博士) 通学 3年

取得学位：博士(社会福祉学)

開講キャンパス：池袋キャンパス

学びの構成



博士課程前期の研究を基盤に、より高度な研究を実践

社会福祉学専攻博士課程後期(博士課程)では、博士課程前期までの教育・研究の成果を基盤とし、より深く、高度な研究を実践し、将来国際的な視野を持つ社会福祉の研究者や指導的役割を果たせる専門家を養成します。



社会福祉学研究科 児童学専攻 修士課程



現代社会で子どもが直面する問題や課題を解明し、 科学的・実証的な研究と実践ができる児童学の専門家を養成

社会福祉学研究科児童学専攻は、地域や家庭、施設などでの子育て、子育て支援に関するさまざまな問題を専門的・多角的な立場から分析・研究を行います。発育・発達、心理、保健・医療、福祉、教育、文化といった保育・児童学に関連のある領域を基にした3つの研究分野から希望に合わせて選択し、実証的研究をすすめ、子どもが直面する問題や課題を解明し、対応ができる児童学の専門家を養成します。

教育の目的

幼児教育や特別支援教育の現場、保育、病児・病後児保育や子育て支援の現場、児童福祉関連施設や行政の現場などで、実践的に幅広く活躍できる指導者や研究者の養成をめざす。

ディプロマ・ポリシー

幼稚園・保育所・認定こども園などの保育現場で子どもに対する保育および保護者に対する子育て支援について適切に行える中核保育者、あるいは保育者養成機関において保育学・児童学に関する教員として活躍できる指導者並びに研究者。

カリキュラム・ポリシー

幼児教育・保育に関する高度専門職者としての幅広い視点から必要な知識及び技術を学ばせるとともに、児童学領域の研究能力が身に付くように育成するために、深い知識と広い視点に立つて児童学の研究を行わせる。具体的には、必須科目として、児童学研究基礎論、教育学特論、保育児童学調査研究法、そして学位論文の作成に向けて専門的な指導を行う課題研究がある。選択科目は、保育児童学関連科目、保健・医療・児童学関連科目、特別ニーズ児童学関連科目の教科目群から構成される。



児童学専攻修士課程 通学 通信教育

2年

取得学位：修士(児童学)
開講キャンパス：池袋キャンパス
取得可能資格：
幼稚園教諭専修免許状（希望者）
※幼稚園教諭一種免許状取得者のみ

実践力・問題解決能力のある子どもの専門家を養成

児童学専攻修士課程では、地域および家庭内養育希望の低下など、児童学に関するさまざまな問題を専門的・多角的な立場から分析・研究します。それにより実践力・問題解決能力のある質の高い専門家や研究者の養成をめざしています。

発育・発達、心理、保健・医療、福祉、教育、文化といった保育・児童学に関連のある領域をもとにして、3つの研究分野を設置し、実践者や新たに学修をする方の実証的研究を支援し、実践力の養成をはかります。

学びの構成

必修研究科目群(6単位以上)

「子ども」をトータルに観察し、理解するために児童学の基礎および調査・研究の基本を学修しながら、理解を深め、実証的な研究に役立てます

選択研究科目群(20単位以上)

個々の研究課題と研究目的に応じて、3つの分野から選択して履修します

課題研究(4単位)
(修士論文作成)

修士論文審査・
口頭試問合格

修士[児童学]

3つの選択研究科目群

保育児童学分野

保育現場、養成施設、行政等で必要とされている、高度な専門性を備えた保育の専門的人材養成ニーズに応える学修のための科目群です。乳幼児の保育・教育に関する研究の最新の学術的知見を扱い、保育実践の研究能力の養成、実践の改善、指導助言ができる識見、技能の習得をはかります。

保健・医療児童学分野

子どもの事故と安全対策、子どもの疾病と対処法、子どもを取り巻く環境への対応などの学術的知見を取り入れ、病児・病後児保育における子ども及び家族への支援方法の基礎を習得します。

特別ニーズ児童学分野

幼児期・学童初期の子どもの「特別な教育的ニーズ」に関して、敏感に感知・評価できる能力を持ち、これらに関して対応する处方を考案できる能力を養います。「軽度発達障害を含む障害」「社会的不適応」「家庭的不適応」に関する素養を生かして現実的に問題の解決をはかるために分析し考察をすすめる識見を身につけます。

社会福祉学研究科 児童学専攻修士課程 開講科目(予定)

科目群	科目名	単位数
必修研究科目群	児童学研究基礎論	2
	保育児童学調査研究法	2
	教育学特論	2
課題研究	課題研究(修士論文)	4
保育児童学分野		
乳幼児保育学特論		
幼児教育学特論		
幼児教育実践演習		
保育内容研究特論		
表現文化実践特論		
表現文化実践演習		
子育て支援特論		
子育て支援演習		
発達心理学特論		
家族福祉特論		
保健・医療児童学分野		
小児保健特論		
病児保育学特論		
学校保健特論		
児童環境保健学特論		
小児リスクマネジメント特論		
小児医学特論		
特別ニーズ児童学分野		
障害児保育特論		
障害児保育演習		
言語発達特論		
カウンセリング特論		
カウンセリング演習		

社会福祉学研究科 児童学専攻修士課程 開講時間割例(通学課程)

春期							
時間	時間	月	火	水	木	金	土
1	9:00~10:30		子育て支援演習			表現文化実践特論 児童学研究基礎論	
2	10:45~12:15		表現文化実践演習			障害児保育演習 教育学特論	
3	13:10~14:40	発達心理学特論	幼児教育学特論				カウンセリング演習
4	13:10~14:40	障害児保育特論	幼児教育実践演習	小児保健特論		学校保健特論	
5	16:40~18:10						
6	18:25~19:55						

秋期							
時間	時間	月	火	水	木	金	土
1	9:00~10:30					子育て支援特論	
2	10:45~12:15		乳幼児保育学特論	家族福祉特論			
3	13:10~14:40		言語発達特論				
4	14:55~16:25	保育内容研究特論		病児保育学特論		カウンセリング特論	
5	16:40~18:10						
6	18:25~19:55						

※ 通学課程の時間割です。
※ 課題研究については、研究指導教員と学生が相談の上、授業時間が決定されます。
※ 通信教育のスケーリングスケジュール例はP.18をご参照ください。

教育学研究科 教育学専攻 修士課程



新たな教育学的知見を創造し 社会の発展に貢献できる 人間性・教育研究能力を備えた人材を養成

幼少期から高齢期にわたる人間形成や複雑な教育現象を深くとらえ直す総合的な教育学的知見を基盤とし、現代社会の教育・子ども支援・多文化共生の3つの領域における人間形成や教育現場の諸問題に対して、新たな課題を発見し、課題解決策を提案できる高度で知的な素養のある人材、高度専門職業人及び専門的教育学研究者等、教育研究活動を通して社会の発展に貢献できる人間性・教育研究能力を備えた人材の養成を目指します。

教育の目的

今日起きている様々な教育現場の臨床教育現象の情報を収集し、実態を把握の上分析し、その問題を解決できる高度かつ専門的な教育研究能力と問題解決能力を備えた教育現場の中核教員、あるいは教育研究機関の教育研究者等、わが国の教育分野の中核として活躍できる人材の養成をめざす。

ディプロマ・ポリシー

今日起きている様々な教育現場の臨床教育現象の情報を収集し、実態を把握の上分析し、その問題を解決できる高度かつ専門的な教育研究能力と問題解決能力を備えた教育現場の中核教員、あるいは教育研究機関の教育研究者等、わが国の教育分野の中核として活躍できる指導者並びに研究者。

カリキュラム・ポリシー

教育学研究科の核になる考え方・研究方法の修得のために、教育学総論及び研究方法科目を置き、必修とする。その上で、教育現場の臨床教育現象の情報を収集し、実態を把握の上分析し、その問題を幅広い視野で解決できる専門的な教育研究能力を身に付けるための選択科目を設ける。さらに、上記の教育課程において身に付けた高度な専門的読解力、文章力、精深な学識と、論理的、学問的な思考力、研究能力、問題発見・解決能力を応用してまとめる学位論文作成に向けて、課題研究を行う。



教育学専攻修士課程 通学

2年

取得学位：修士(教育学)
開講キャンパス：池袋キャンパス
取得可能資格：
小学校教諭専修免許状(希望者)
養護教諭専修免許状(希望者)
※各一種免許状取得者のみ

人間形成や教育現場の諸問題を重点的に研究

総合的な教育学的知見を基盤としつつ、現代社会の教育・子ども支援・多文化共生の3つの領域における人間形成や教育現場の諸問題を重点的に研究指導できるように体系的な教育課程を編成しています。

学びの構成

必修科目(10単位)	研究方法科目群(4単位以上)	選択科目群(16単位以上)
各関連分野の教員が多角的な視点から教育学とは何か、教育学の現状と課題等について講義します。また、研究課題の発見から資料(文献)収集または調査し、データを分析して論文を作成するまでの指導を受けます。		



■ 教育学研究科 教育学専攻修士課程 前期 開講科目(予定)

科目群	科目名	単位数
必修科目	教育学総論	2
	課題研究I【修士論文】	4
	課題研究II【修士論文】	4
研究方法科目群	アカデミックライティング&プレゼンテーション	2
	量的教育研究法	2
	質的教育研究法	2
	教育学領域	
	教育哲学特論	2
	教育人間学特論	2
	教育史特論	2
	教育課程特論	2
	教育方法学特論	2
選択科目群	教育社会学特論	2
	教育行政学特論	2
	教育情報学特論	2
	生涯学習・社会教育学特論	2
	子ども支援領域	
	特別支援教育特論	2
	生涯発達心理学特論	2
	生徒指導特論	2
	学級経営学特論	2
	子ども家庭福祉特論	2
	教育情報メディア演習	2
	多文化共生領域	
	多文化共生教育特論	2
	異文化理解特論	2
	異文化コミュニケーション演習	2
	比較教育文化演習	2
	養護教諭専修	
	教育保健学特論	2
	学校看護学特論	2
	教育健康学特論	2

■ 教育学研究科 教育学専攻修士課程 開講時間割例

		春期	月	火	水	木	金	土
1	9:00~10:30							
2	10:45~12:15							
3	13:10~14:40	生涯発達心理学特論	学級経営学特論				質的教育研究法	教育史特論
4	13:10~14:40		多文化共生教育特論					教育哲学特論
5	16:40~18:10	教育学総論						子ども家庭福祉特論
6	18:25~19:55						アカデミックライティング&プレゼンテーション	
							異文化理解特論	
							生徒指導特論	

		秋期	月	火	水	木	金	土
1	9:00~10:30							
2	10:45~12:15							
3	13:10~14:40						教育人間学特論	
4	14:55~16:25	教育学総論	比較教育文化演習				教育社会学特論	
5	16:40~18:10	異文化コミュニケーション演習					教育行政学特論	
6	18:25~19:55	質的教育研究法					学校看護学特論	教育健康学特論

※課題研究については、研究指導教員と学生が相談の上、授業時間が決定されます。

通信教育課程

- 心理学研究科 臨床心理学専攻博士課程前期(修士)
- 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻博士課程前期(修士)
- 社会福祉学研究科 児童学専攻修士課程



高度な職業人教育の学びやすい環境を提供

履修方法

通信教育の学修は、主としてレポートの作成・提出(印刷授業)とスクーリング(面接授業)によってすすめます。また、修士論文作成・諸研究についても、研究指導教員によるメールや来校時の個別指導によりすすめ、完成をめざします。

印刷授業(R履修)

研究レポートの添削指導および単位認定試験により単位を修得します。

研究レポート

科目ごとに課せられる設題に対し、文献調査、実際の調査・実験などを通じて独自のレポートを作成します。作成したレポートは、各科目の担当教員が論理展開や独自の意見内容などを精査し、添削指導を行います。

レポート本数の目安は以下の通りです(1本あたり5000字程度)。

単位数	単位修得に必要なレポート本数
2単位科目	レポート3本+単位認定試験合格
4単位科目	レポート6本+単位認定試験合格

単位認定試験

研究レポートが全て合格した科目については、単位認定試験が受けられます。試験はオンラインによる一斉試験または課題提出となります。

実習(P履修)

臨床心理士・公認心理師受験資格取得のための実習では、毎週1日のスクーリングおよび週1日以上の実習で実践能力を高めます。

【通信教育課程の実習】

<臨床心理士>

臨床心理基礎実習(前期15週・後期15週)

臨床心理査定演習I・II(後期15週)

毎週1日のスクーリング(会場は伊勢崎キャンパスのみ)により臨床心理の専門家として必要な技法の基礎を習得します。

臨床心理実習I(心理実践演習II)

臨床心理実習II

伊勢崎キャンパスにある東京福祉大学附属臨床心理相談室での実習(学内実習)と、学外の病院・施設等指定実習施設で行う実習(学外実習)およびスーパービジョン・ケースカンファレンスで構成されます。

<公認心理師>

心理実践実習I(420時間)

心理実践実習II(30時間)

※臨床心理コースの場合臨床心理実習I
(心理実践実習II)

主として実習施設の実習指導者による指導を受けながら実習を行います。施設は、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪の4分野のうち3分野以上の施設および本学附属臨床心理相談室で行います。そのうち保健医療、司法・犯罪分野の実習は必須です。

学内実習について

基本的には月~土曜日の10時~17時の中で、臨床心理相談室来談者(クライエント)の来談希望曜日が実習日となります(あらかじめ固定した曜日や時間割が決められているわけではありません)。

学内実習は日曜・祝日・夜間を除き、1日3時間~8時間を合計45時間行います。

課題研究(G履修)

入学後に提出する「研究課題・研究指導教員希望届」に基づき研究指導教員が決定され、メールやFAX、スクーリング時、オフィスアワー等を活用して指導を受け、修士論文(字数は最低30,000字)を作成します。修士論文構想発表会、修士論文中間発表会も実施します。

大学院 通信教育課程科目別履修方法一覧

心理学研究科 臨床心理学専攻 博士課程前期【臨床心理コース】

科目名	必修	単位数	履修方法	スクーリング時期	時間
臨床心理学特論	◎	4	SR	1年次	前期 180分×7.5週
臨床心理面接特論I(心理支援に関する理論と実践)	◎	2	SR	1年次	前期 180分×7.5週
臨床心理面接特論II	◎	2	SR		
臨床心理査定演習I(心理アセスメントに関する理論と実践)	◎	2	S	1年次	後期 180分×15週
臨床心理査定演習II	◎	2	S		
臨床心理基礎実習	◎	2	S	1年次	前期 180分×15週
臨床心理実習I(心理実践演習II)	◎	1	P	2年次	前期 (学内・学外実習) 週3時間×15週 (スーパービジョン等)180分×15週
臨床心理実習II	◎	1	P	2年次	後期 (学内実習)週3時間×15週(スーパービジョン等)180分×15週
課題研究	◎	4	G	1年次~3年次	修士論文作成指導・審査
心理統計法特論	○	2	R		
心理学研究法特論	○	2	R		
臨床心理学研究法特論	○	2	R		
教育心理学特論(教育分野に関する理論と実践の展開)	○	2	R		
発達心理学特論	○	2	R		
社会心理学特論	○	2	R		
社会病理学特論	○	2	R		
家族心理学特論(家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践)	○	2	R		
犯罪心理学特論(司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開)	○	2	R		
精神医学特論(保健医療分野に関する理論と支援の展開)	○	2	R		
福祉心理学特論(福祉分野に関する理論と支援の展開)	○	2	R		
心理療法特論	○	2	SR		
芸術療法特論	○	2	S	1年次	前期 90分×15週
学校臨床心理学特論	2	SR			
喪失の悲しみへの援助	2	S	1年次	前期 90分×15週	
心理実践実習I	3	P			
産業・労働心理学特論(産業・労働分野に関する理論と支援の展開)	2	R			
心の健康教育に関する理論と実践	2	R			
心理学総論特論	2	S	3年次	前期 180分×15週	
			3年次	後期 180分×15週	
心理支援総論特論	2	S	3年次	前期 90分×15週	
			3年次	後期 90分×15週	

社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 博士課程前期

科目名	必修	単位数	履修方法	日数	方法	時間
社会福祉研究方法特論	◎	4	SR	2	オンライン	6コマ
専門演習I A(社会福祉制度・政策理論研究)	○	2	SR	2	オンライン	10コマ
専門演習I B(援助技術・実践研究)	○	2	SR	2	オンライン	10コマ
専門演習I C(経営福祉関連研究)	○	2	SR	2	オンライン	10コマ
専門演習II A(社会福祉制度・政策理論研究)	○	2	SR	2	オンライン	10コマ
専門演習II B(援助技術・実践研究)	○	2	SR	2	オンライン	10コマ
専門演習II C(経営福祉関連研究)	○	2	SR	2	オンライン	10コマ
課題研究	◎	4	G			
社会福祉原理特論		2	R			
高齢者保健福祉特論		2	R			
児童福祉特論		2	R			
障害者保健福祉特論		2	R			
社会保障特論		2	R			
地域福祉特論		2	R			
公的扶助特論		2	R			
海外福祉事情特論		2	R			
社会福祉法特論		2	R			
精神保健福祉特論		2	R			
社会福祉援助技術特論		2	R			
社会福祉援助技術演習	2	SR	3	オンライン	12コマ	
精神保健福祉援助技術特論		2	R			
精神保健福祉援助技術演習	2	SR	3	オンライン	12コマ	
スーパービジョン特論	2	SR	1	オンライン	3コマ	
精神医学特論		2	R			
精神科リハビリテーション特論		2	R			
老年・小児医学特論		2	R			
福祉リスクマネジメント特論		2	R			
社会福祉調査統計特論	4	SR	1	オンライン	3コマ	
経営福祉研究方法特論	2	R				
経済学特論	2	R				
社会福祉経営特論	2	R				
医療経営特論	2	R				
財務会計特論	2	R				
マーケティング特論	2	R				
オーガニゼーション特論	2	R				
管理会計特論	2	R				
経営財務特論	2	R				
非営利企業特論	2	R				
福祉マネジメント特論	2	R				

社会福祉学研究科 児童学専攻 修士課程

科目名	必修	単位数	履修方法	日数	方法	時間
児童学研究基礎論	◎	2	R			
保育児童学調査研究法	◎	2	R			
教育学特論	◎	2	SR	2	オンライン	7.5コマ
課題研究	◎	4	G			
乳幼児保育学特論		2	R			
幼児教育学特論		2	R			
幼児教育実践演習	2	S	3	オンライン	15コマ	
保育内容研究特論		2	R			
表現文化実践特論		2	SR	2	オンライン	7.5コマ
表現文化実践演習		2	SR	2	オンライン	7.5コマ
子育て支援特論		2	R			
子育て支援演習	2	S	3	オンライン	15コマ	
発達心理学特論	2	R				
家族福祉特論		2	R			
小児保健特論		2	R			
病児保育学特論		2	R			
学校保健特論		2	R			
児童環境保健学特論		2	R			
小児リスクマネジメント特論		2	R			
小児医学特論		2	R			